

豊川文化



砥鹿神社 弓始祭

高浜虚子の孫で稲畑汀子先生の「平凡を大切に生き去年今年」という虚子の有名な去年今年の句を思い起こすような句があります。

これは阪神・淡路大震災から復興の際に寄せられた句と聞きます。令和二年からのコロナ感染、昨年からのウクライナ・ロシア紛争、そして今年はパレスチナ・イスラエル紛争と地球規模の戦争と不安を引き起こしています。私たちは日本という現在では平和な国家に住み、皆様それぞれ生きがいや楽しみを感じて生きることが出来ます。

私は文化芸術とはそれぞれの方々の人生の中で、「私はどうしてもこれをやって生きてゆく」という手段と 생각합니다。その前向き積極的な気持ち、文化芸術を形づくる根源と 思います。今年、「平凡を大切に」皆様にとって、かけがえのない一年となりますこと、ご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけまして

おめでとうございます

本年も当協会に對しまして、ご支援ご協力

賜りますますようお願い申し上げます



新年を迎えて

会長 小野喜明



公演情報

新春お笑い寄席

林家正蔵・柳家喬太郎

特選二人会

マルチタレントとしてバラエティ番組への出演も多い林家正蔵と、実力と幅広さを兼ね備えた個性派の柳家喬太郎。人気落語家の高座をご堪能ください。

新年の初笑いはこれで決まり!!



▼日時

令和六年一月二十八日(日)

十四時開演

▼会場

豊川市文化会館 大ホール

▼出演

林家正蔵、柳家喬太郎

▼入場料

S席 四千五百円

A席 三千五百円

(全席指定。未就学児の入場はご遠慮ください。)

海援隊トーク&ライブ2024

ライヴ2024

武田鉄矢がボーカル・リーダーを務める三人組フォークバンド海援隊。

「贈る言葉」「母に捧げるバラード」などのヒット曲で知られています。

コンサートでは愉快でホロリとさせるトークもお楽しみいただけます。



▼日時

令和六年二月十八日(日)

十六時開演

▼会場

豊川市文化会館 大ホール

▼出演

海援隊(武田鉄矢、千葉和臣、中牟田俊男)

▼入場料

S席 六千円

A席 五千円

(全席指定。未就学児の入場はご遠慮ください。)

秋の文化財めぐり 平等院鳳凰堂と 醍醐寺

文化ふれあい委員

竹尾 眞 弓

十一月十六日、爽やかな晩秋の朝、競争率二・八倍を見事突破した四十四名の皆さんと秋の文化財めぐりに出発しました。

まずは京の台所と銘打つ「月の蔵人」で名物の豆腐料理を堪能しました。

身も心も温もって最初の目的地、平等院へ。外国人の拝観客が多いことにびっくり。ここからは五班に分かれ、専任のガイドさんが



平等院鳳凰堂

付いて説明してくださいませ。金色の鳳凰が輝く鳳凰堂は優美な姿で

私たちの目を引きつけます。

堂内の平安時代を代表する仏師・定朝の傑作、本尊阿弥陀如来坐像は光背と台座で四メートル以上もある大きな仏様で、思わ

ず合掌しました。壁にかかる雲中供養菩薩像の楽器を奏で舞っているお姿は天女のようにでした。

次に訪

れた醍醐寺は醍醐山全体を寺領とする大きなお寺で、

秀吉の醍醐の花見でも有名です。



醍醐寺五重塔

多くの国宝、重要文化財がある中で私が印象深かったのは、

秀吉自ら基本設計した三宝院庭園と五重塔です。ガイドさんによると日本三大五重の塔は、古

さで法隆寺、高さで東寺、美しさで醍醐寺だそうです。醍醐寺の五重塔は一層目から二層目、三層目と次第に屋根の大きさが小さくなって、塔としての姿をより美しく整えています。その姿をしつかり目に収めてきました。帰りの車中では新しい出会いとなった同じ班の方々と今日の見学についてのお話が弾み、笑顔の解散となりました。



OA・事務機器・文具・オフィス家具・紙製品

(有)鈴木紙店



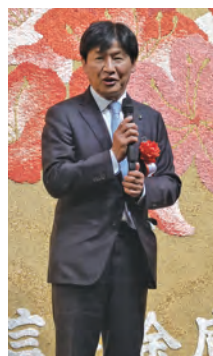
豊川市豊川栄町56番地
TEL(0533)85-2827

株式会社 しののめざ

東雲座

〒441-8052 豊橋市柱三番町 79
TEL.0532-47-0509 FAX.0532-47-3109

○舞台照明・音響・大道具・舞台監督
○舞台看板・パンフレット・ビデオ撮影承ります。



市長あいさつ

好天に恵まれた十一月三日(金・祝)に豊川市文化会館の大ホールにて、全三十三団体の出演により、芸能大会を開催いたしました。

新型コロナウイルスが第五類感染症へ移行したことにより、舞台上の人数制限も解除され、出演を見合わせていた団体からも数年ぶりの参加がありました。舞踊部・日本舞踊部・歌舞伎舞踊部が振り付けを行った、豊川市制施行八十周年記念ソング「豊川、豊か」盆踊りお披露目として、大会の最後にみんなで踊りました。

大ホールロビーではいけばな講座の成果発表展示、展示室では絵手紙の作品展も開催されました。

たくさんのお客様にお越しいただき、盛況のうちに閉会することができました。

ありがとうございました。

ふれあい みんなの **芸術祭 芸能大会**

十一月三日(金・祝)

豊川市文化会館 大ホール



いけばな講座受講生作品展

文化会館ロビー



「豊川、豊か」盆踊りお披露目

電化製品・プロパンガス・ガス器具・精米

株式会社 松下商店

豊川市桜木通4丁目
TEL (0533) 86-3404
FAX (0533) 86-2926

夢と感動の世界を創造する

PI&P GROUP

株式会社 ピーアンドピー

本社 / 〒442-0808 愛知県豊川市豊が丘町198番地1
TEL (0533) 86-9511 FAX (0533) 86-9848
E-mail/info@pandp-web.com

施設管理事業
・舞台設備管理、舞台設備保守点検
・舞台設備改修、指定管理者委託業務

イベント事業
・企画・構成・演出業務
・舞台監督・照明・音響技術業務

介護福祉施設運営事業
・居宅サービス業務
・介護予防サービス業務

こめや事業(タイ王国)
・こめ生産業務・こめ販売業務

団体活動の記録①

○舞踊部

第五十三回 舞踊発表会

開催日：十一月十九日(日)
会場：豊川市文化会館 中ホール

舞踊発表会も今年で五十三回を迎えました。ふれあいみんなの芸術祭参加事業として、房登会、ひばり会、くすのき会、照弥賀の会の四団体により開催しました。

豊川市制施行八十周年を迎え誕生した記念ソング「豊川、豊か」に、文化協会で作成させた振り付けで最後に賑やかに踊り、発表会の幕を下ろすことができました。大勢の皆様のご来場と応援をいただき、



それぞれの会のもっと一生懸命に務めました。会員一同歳を重ねてきておりますが、これからも稽古に励んでまいります。多くの皆様のご声援まことにありがとうございました。

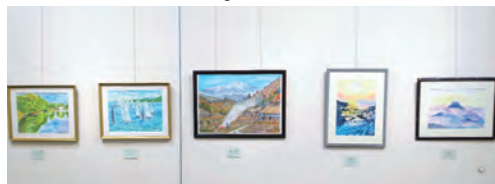


○ゆみ水彩画クラブ

ゆみ水彩画クラブ作品展

開催日：八月二十二日(火)～二十七日(日)
会場：桜ヶ丘ミュージアム 第一展示室

約二十五年の活動を続けてきた、ゆみ水彩画クラブですが、今年度でその幕を閉じることとなりました。長きにわたり応援、ご高覧いただいた皆様には会員一同、心より感謝申し上げます。来年度以降は有志による活動に変わります。令和六年二月二十七日、三月三日の最後となる作品展をお楽しみに。



○豊川文化協会文芸局

第五回 文芸局合同色紙展

開催日：八月二十二日(火)～二十七日(日)
会場：桜ヶ丘ミュージアム 第二展示室

皆さま方のお蔭を持ちまして、五回目を終えることが出来、改めて感謝申し上げます。この色紙展、お越し頂いた皆さまに、読んで味わって頂きたいと日々研鑽を積んで参りました。その中から一つでも人生の機微に触れて頂けたら幸甚でございます。



○豊宝書道会

第二十七回 豊宝書道展

開催日：八月二十九日(火)～九月三日(日)
会場：桜ヶ丘ミュージアム 第二展示室

今年も豊宝書道展を開催いたしました。出品会員四十六名。入場者数五百六十四名。市内外のたくさんの方に高覧いただきありがとうございました。また、市在住、ゆかりの方で、書道作品制作に取り組まれ、この会に出品を希望してくださる方がみえましたら、是非お仲間になってください。



○日本舞踊 松葉流

日本舞踊 松葉流 ゆかた会

開催日：九月三日(日)
会場：蔵子一区 区民館

毎年恒例のゆかた会。今回は一歳から十八歳まで、幅広い年齢の出演者三十三名で開催しました。



日頃の稽古の成果を十分に発揮され、和やかな雰囲気の中で勉強会を終えることが出来ました。

思い出に残る **旅** ご提案します

個人旅行 国内旅行 団体旅行 海外旅行 グループ旅行 団体旅行 御見積り無料!!

株式会社 トーベル東海

TRAVEL TOKAI

本社営業所 豊鉄本野町バス停前
TEL.0533-84-7115

営業時間
月、水～土 / 10時～15時
(日・火・祝休み)

Music gives you fine sensibility.

オリент楽器

■豊橋店
管弦打楽器・ギター・電子ピアノ・楽譜の品揃えが充実。管リペアマン常駐で迅速対応。
TEL.0532-54-5500
■豊橋市大岡町30
■水曜・第3木曜日定休

■豊川店 本社
新品・中古の鍵盤楽器のラインナップが充実。調律などピアノのことなら豊川店へ。
TEL.0533-84-3145
■豊川市中条町今宮36-6
■水曜・第3木曜日定休

団体活動の記録②

○日本壮心流

日本壮心流創流百十七年
全国剣詩舞道大会

開催日：九月三日(日)
会場：アイプラザ豊橋 大ホール

剣舞はりりしく、詩舞はしとやかに舞うこと、各教場の稽古の結果を發揮する場です。来賓の吟部構成演舞では宗家とお孫さんの共演がかわいく、お客様に受けました。お客さまも多く、踊っていても張り合いがありました。

これからも続くかぎり詩舞を続けていきたいと思えます。

○豊川狂俳会

狂俳大会



開催日：十月一日(日)
会場：桜ヶ丘ミュージアム 第一実習室

今年も文化祭狂俳大会を開催したが、参加者はわずかに八名。

一時は四、五十名の参加で盛大に開催したことを思えば隔世の感である。近頃は近隣の吟社も全部解散して全滅である。

それでも豊川吟社はこの二・三年に新人も加わり、何とか残って頑張っているのがある。

○三河書芸会

第十四回 三河書展

開催日：十月三日(火)～八日(日)
会場：桜ヶ丘ミュージアム 第四展示室

「もう古希？」「何年前だったかな？」なんて会話が飛び交う三河書展です。

三河書芸会の七十歳以上の会員が属し、今年も三十七名が

古典の臨書、漢詩、かな近代詩文、好きな言葉を想い想いの作品に書きあげ発表することが出来ました。

これからも歳を忘れ書く喜びを味わい続けたいと願っています。



○豊川作陶協会

第三十三回 豊川作陶展

開催日：十月十七日(火)～二十二日(日)
会場：桜ヶ丘ミュージアム 第六展示室

豊川作陶協会では、毎年秋に作陶展を開催しています。会員二十三名の個性光る作品が約二百点並び、今年は約千名の来場者に見てもらうことが出来ました。

会員同士の情報交換が盛んで、お互いのレベルアップに繋がっています。



○豊川音楽協会

第三十五回 ほーほう音楽祭

開催日：十月二十九日(日)
会場：豊川市文化会館 大ホール

コロナ禍で思ったような活動が出来ずに苦しんだ団体の、喜びの舞台が続きました。市制施行八十周年を記念してカラー照明も使い、いっそう華やかな音楽会になりました。大ホールだけでなくロビーコンサートも実施し、演奏者と観客の距離もぐっと縮まりました。

出演団・種別	タイトル	演奏者
1	豊川市吹奏楽団	10:00
2	豊川市吹奏楽団	10:10
3	豊川市吹奏楽団	10:20
4	豊川市吹奏楽団	10:30
5	豊川市吹奏楽団	10:40
6	豊川市吹奏楽団	10:50
7	豊川市吹奏楽団	11:00
8	豊川市吹奏楽団	11:10
9	豊川市吹奏楽団	11:20
10	豊川市吹奏楽団	11:30
11	豊川市吹奏楽団	11:40
12	豊川市吹奏楽団	11:50
13	豊川市吹奏楽団	12:00
14	豊川市吹奏楽団	12:10
15	豊川市吹奏楽団	12:20
16	豊川市吹奏楽団	12:30
17	豊川市吹奏楽団	12:40
18	豊川市吹奏楽団	12:50

○のり子絵手紙クラブ

のり子絵手紙クラブ作品展

開催日：十一月二日(木)～五日(日)
会場：豊川市文化会館 展示室

生徒百四名による二百十五点の作品を展示し、干支の年賀状などを描く「体験コーナー」では絵手紙の楽しさを味わっていただきました。

芸能大会の日には様々な年代の方にご来場いただき、盛況のうちに作品展を終えることが出来ました。



デザイン ● LED加工 ● 美術看板 ● IJP

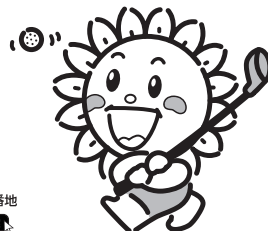
ウメラ アド サイン
豊川市諏訪3丁目8番地 TEL・FA X(0533)85-4547
u-ad.sign38@oregano.con.ne.jp 広告美術技術士 梅村 光

“農業と食を通じた“元気”づくり
年金の受取りはJAひまわりへ

様々な企画を通じた
よりよい地域の仲間づくり。
「年金友の会」にご加入いただけます

ひと・夢・いいね。
JAひまわり

本店 金融課 〒442-8517豊川市諏訪1丁目1番地
☎0533-85-3173 **JADまわり** 検索



文芸

◇川柳◇

若い日の失敗今は笑い種
今泉 佐知子

健診の結果オーライまだ生きる
榎本 豊子

八十路来てここで切りたい年の数
大岩 喜代子

かき氷頭キーンと身がシャンと
大平 スイ子

◇短歌◇



晩秋のひかりに照りて笑み割れし
ふゆ柿一つ枝先に揺る
鋤柄 君代

ねんごろに繰り言を聞く夜の
しじま厨の隅におろぎの鳴く
鈴木 信代

戦いをやめる日本語数多あり
和睦に和解・停戦・講和
玉田 さかゑ

高齢者嘆くなかれと「檄」がとぶ
一ツ遠慮し白寿を目差す
中尾 襄一

◇狂俳◇

冬近し

一病を抱えて生きる
高橋 良花

夫唱婦隨
以心伝心分ち合う
池田 彩女

不眠不休
復興に骨身を削る
河合 次代

不意打ち
ゲリラ雷雨に襲われる
加藤 卯女

◇俳句◇

目つむればワルツ聞こゆる花野かな
坂井 三輪

晴れ晴れと老人力の菊花展
荒川 友子

大の字に寝ても淋しき鉦叩かねたたき
橋 実子

新蕎麦や箸の高さに城見えて
鈴木 年子

木の実落つ反骨ついに萎なえており
浅沼 春子

庭石の黙もく深々と冬に入る
鶴飼 順子

五葉松三段にして小春かな
佐野 美江

今朝の冬灯油売場の列につく
雪竹 紀子

「健康だより」 保健センター

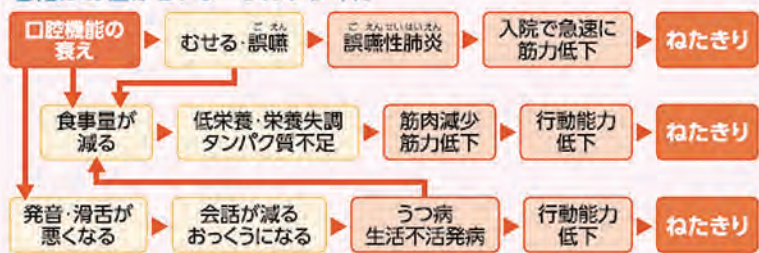
老化はお口から

ささいなお口の機能の衰えを「オーラルフレイル」といいます。オーラルフレイルは図のように全身の虚弱につながり要介護リスクを高めます。

オーラルフレイルリスクチェック
してみよう！あなたは何点？

- 〇～二点 危険性は低い
- 三点 危険性あり
- 四点以上 危険性高い
- ①半年前と比べてかたいものが食べにくい (は)二点・いいえ〇点
- ②お茶や汁物でむせることがある (は)二点・いいえ〇点
- ③口の渇きが気になる (は)一点・いいえ〇点
- ④さきいか・たくあんくらいのも硬さの食べ物がかみにくい (は)一点・いいえ〇点
- ⑤半年前と比べて外出頻度が少なくなった (は)一点・いいえ〇点
- ⑥義歯を使用している (は)二点・いいえ〇点
- ⑦一日に二回以上は歯をみがく (は)〇点・いいえ一点
- ⑧一年に一回以上は歯科医院を受診している (は)〇点・いいえ一点

老化はお口から！オーラルフレイル



これからはお口の機能にも目を向けたケアを
日頃の歯みがきや歯間ケアは
勿論のことこれからは、お口の
機能低下を防ぐ体操も毎日とり
いれましょう。



名刺・封筒・伝票・DM・チラシなど
デザインから印刷まで
承ります！

少部数・小ロットの
印刷もお任せください。

(株)ミカド

〒440-0073 豊橋市湊町151番地
TEL 0532-52-2970 FAX 0532-55-1644
E-mail:mikadopt@rj9.so-net.ne.jp

デザイン・印刷・組版

万葉集の宴席歌

歌の趣向を味わう

名古屋女子大学名誉教授
豊川市文化財保護審議会委員

竹尾利夫

古都の佐保路は夕暮れが近づいてきた。奈良の花めぐりには早い季節なのに、佐保の川辺に馥郁と咲く梅に春の訪れを感じとった記憶がある。梅は奈良時代前に中国より伝わり、貴族らが庭園の花木に植えて愛好した。香りに気品があるからだろう。

『万葉集』において大宰府の「梅花の宴」で詠まれた梅は、新元号「令和」ゆかりの花として知られる。この宴は大宰府の官人や管轄の諸国から風流士が集い、梅見の宴と洒落込んだもの。その際の梅花の歌三十二首は序文が付され『万葉集』に残った。

中国詩序に倣った序文の一節は「初春の令月にして、氣淑く風和らぐ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は佩後の香を薫らす」とある。新元号「令和」の典拠となった箇所は、詩文集『文選』張衡「帰田賦」に「仲春令月、氣淑風和」とあり、それに学んでいるのだ。

例えば千三百年前の天平二年(七三〇)正月、大宰帥(長官)大伴旅人邸で梅の花を愛でる宴が開かれなければ「令和」が選ばれることはなかった。都から遠く離れた大宰府で形成さ

れた「筑紫歌壇」は教養の高い知識人の集まり。彼らの詠んだ歌を通して当日の宴会の様子を再現しよう。



令和ゆかりの梅(太宰府にて)

三十二首の冒頭を飾る歌は大宰府首席次官、大貳紀卿の詠である。

正月立ち春の来たらばかくしこそ梅を招きつつ楽しき終へめ(八一五)

主賓らしく「正月立ち」が始まる。だが『琴歌譜』元旦に「新しき年の始めにかくしこそ千歳をかねて楽しき終へめ」と類似歌が載る。すると宴の挨拶歌が引用されたと見るべき。これに続く歌も、大宰府官人である。

梅の花今咲けると散り過ぎず我が家の園にありこそせぬかも(八一六) 梅の花咲きたる園の青柳は纏にすべくなりにけらざる(八一七)

先の歌は少弐小野大夫、外交氏族の小野老の詠。後の歌は同じく少弐栗田大夫の詠んだ歌。いずれの作も詠題「梅」の語を含む。宴では「園梅」が一同共通に課せられた主題であったからだ。紙幅の関係で他の歌の掲出は控えるが、宴席の歌は、鎖連歌

のように詠み継がれて興味ぶかい。

小野老が冒頭歌の寿ぎの気分を承けて梅花の不变を詠めば、続く栗田は前歌の「園」を承け、取り合わせの「柳」を持ち出す。万葉歌の世界が後世の連歌の趣向を先取っているのだ。

では、他の宴席歌と思われる作について考えてみたい。掲出するのは大宝二年(七〇二)十月、持統太上天皇が三河国に行幸した折の歌である。引馬野にほふ榛原入り乱れ衣に

ほはせ旅のしるしに(五七)

いづくにか船泊てすらむ安礼の崎 漕ぎ廻み行きし棚無し小船(五八)

五七歌は長意吉麻呂(奥麻呂)、五八歌は高市黒人の作。天皇の行幸に従駕して詠んだもの。詠題の「梅花の宴」歌とは趣を異にする。行幸先で見た景を詠むには技巧が求められた。

意吉麻呂が目にしたのは引馬野に色づいた「榛」で榛の木のこと。下句に「衣にはほはせ旅のしるしに」とある。樹皮や実が染料に用いた。したがって美しく色づいた榛原に分け入って

も衣は染まらない。現実ではない文芸の世界がそこにあるのだ。一首中に「にはほふ」「にはほはせ」と同じ詞句を繰り返してうたう、歌の声調も快い。

地名「引馬野」は所在未詳。通説は豊川市御津町御馬一帯とするが、榛の植性を考慮すれば、当時は湿地の下佐脇付近を含むとも考えられる。

また叙景的な歌として名高い黒人

作は三河湾での景と見てよい。上二句に「いづくにか船泊てすらむ」と作者の感慨が述べられ、下句は「漕ぎ廻み行きし棚無し小船」と体言止めで結ぶ。歌の調べにも着目してみよう。

四句目からの詞句には、いく度も「」の音が頻出する。岬を漕ぎ廻つて次第に視界から遠ざかる小船の楫を漕ぐ律動として機能するが、宴でうたわれた歌のリズムともなる。その黒人には次のような戯れ歌もある。

妹も我れも一つなれかも三河なる

二見の道ゆれれかねつる(二七六)

「愛しいあの娘と心は一つ、三河の二見道での別れがづらい」というのだ。ことさら数字を重ねた表現には即興的な性格や笑いも感じられる。三河から都へ帰る天皇一行を見送る宴で詠まれた歌とみて間違いあるまい。

万葉の宴席歌は作者の趣向や歌の享受された場が蘇り、興味は尽きない。ところで最近、豊川文化協会の短歌グループ「歌は友どち」の歌に接する機会を得た(歌表記は原文のまま)。

背をまるめ草かく媼のくわの音かすかに響くりズムをとつて

年老いた媼の畑仕事という題材の選び方も巧で、助詞「の」を繰り返して、さくさくと畑に鋤を入れている様が浮かぶ歌である。万葉のうたわれた伝統が感じられ、私の心に残った。

●文協カレンダー（令和6年1月15日～4月）

加盟団体から提出された年間計画に基づいて作成しています。予告なく日程の変更、または中止となる場合がありますので、ご了承ください。

Calendar table with columns: 月 (Month), 日 (曜日) (Day of Week), 行 事 名 (Event Name), 会 場 (Venue). Includes events like '第18回ほーほう子ども音楽祭' and '新春お笑い寄席'.

●豊川文化協会パートタイム職員募集

- ▼雇用期間: 令和6年4月1日から令和7年3月31日
▼勤務場所: 豊川市桜ヶ丘ミュージアム内
▼勤務時間: 原則として火曜日から金曜日 9:00~15:00
▼募集人員: 1名
▼業務内容: 事務補助作業、ワード・エクセルの基本的な操作ができる方
▼賃金: 時給 1,099円
▼試験内容: 書類審査と面接
▼申込方法及び募集期間: 市販の履歴書、若しくは文化協会ホームページからダウンロードした履歴書に必要事項を記載して、2月15日(木)までに豊川文化協会へ郵送ください。
▼宛先: 〒442-0064 豊川市桜ヶ丘町79-2

友の会会員名簿
ご協力ありがとうございます
(順不同、敬称略)
川杉杉 氏
手本本 名
久洋子 口
治子喬 数
1 2 2

明けましておめでとうございます。コロナ社会となり五度目の新年。世界も国内も目まぐるしく変化し、良い事もそうでない事もあります。文化の歴史は積み重ねられます。新しきも古きへと移る中、昔の文化も大切に守られる事を願います。この欄をお借りし、豊川文化協会の紹介を致します。公益社団法人 豊川文化協会、桜ヶ丘ミュージアムに事務所を置き、現在は八十四の文化活動団体が会員として加盟し、各々が様々な活動をしています。豊川文化協会としては公演事業を年四本、その他に講座事業、春・秋の文化財めぐりや美術館めぐりがあります。これらは主催・豊川文化協会として市広報等で参加者の募集をします。ふれあいみんなの芸術祭は加盟団体が各々の活動の成果を発表する大きな行事で、今号に掲載されている芸能大会は当協会の芸能部門全体で開催する発表会で、特に大きなものとなります。多くの方に文協を身近に感じて頂けると嬉しいですね。(秀純)

発行日 令和六年一月十五日
発行所 (株)ミカド
編集者 (公社)豊川文化協会

◎題字は、三河書芸会 権田穂園さん
◎表紙写真は、中日写真協会豊川支部 鈴木伸治さん

住宅ローン、各種ローンのご相談・年金相談・資産活用等のご相談
かわしん休日相談プラザ(本店営業部)
●各種個人ローンの受付、ご相談
●年金相談・税務相談・資産活用等のご相談
営業日/第1週、第2週、第4週の土曜日・日曜日 10:00~17:00
(ただし、12月31日~1月3日を除く)
かわしん住宅ローン休日相談プラザ(八南支店)
●住宅ローンの受付、ご相談
営業日/毎週日曜日 9:00~12:00 13:00~17:00
(ただし、12月31日~1月3日を除く)
お気軽にご利用ください。*専門スタッフが不在となる場合があります。事前にお問い合わせください。
■お問い合わせ先
豊川信用金庫 お客さま支援課:0120-18-9808
住宅ローン相談プラザ直通:0120-846-432
豊川信用金庫